

芦野地区観光拠点化事業は

町 今後の計画は、住民の合意形成のもと進める

問 観光立町として芦野地区の今後の事業計画は。

町長 事業メニューとして想定されるものは遊行庵、直売所の再整備、まちなかの滞留拠点の整備、道路景観づくり、町並み等である。今後、生活空間を改善しなければならぬ点もあり、住民の合意のもと進めたい。

問 道路景観づくりを進めるうえで、御殿山入り口の電柱は非常に危険な個所に位置し、又景観の妨げにもなるので早急に移転する考えは。

観光商工課長 電柱が支障となつている問い合わせが所管課にも二、三件届いている。

今後は、現状を踏まえ電力会社と協議を進めていきたい。

過疎地対策の診療所継続は

町 芦野診療所の継続対策は総合的に検討、対応する

問 地元の強い要望により、昭和35年の開設以来、芦野地区住民の健康を見守っていただいているが、芦野診療所の役割、評価についての町の考えは。

保健福祉課長 主に芦野地区住民のかかりつけ医として、長きにわたり町民の健康を見守りいただき、町としても感謝を申し上げたい。

問 今後の芦野地区の診療所対策についての考えは。

保健福祉課長 50数年が経過しているので施設、医療機器、それから医師の問題等クリアすべき課題は非常に多い。また、診療所の医師が高齢であることは承知しており、芦野診療所の継続も含め総合的に検討、対応

応をしていきたい。



芦野診療所



芦野街並み